

世界史 B

(解答番号 ~)

第1問 世界史上、様々な地域や時代に見られた体制と制度について述べた次の文章A～Cを読み、後の問い(問1～9)に答えよ。(配点 27)

A 中国では、王や皇帝の一族を、制度上どのように位置づけるか、たびたび議論された。次の資料1・2は、始皇帝の御前で、周の統治制度の是非をめぐって行われた議論について記した『史記』の一節、資料3は、清の初めの史論『読通鑑論』^{どくつがんろん}の一節の概要である。(引用文には、省略したり、改めたりしたところがある。)

資料1

李斯は、「周王朝を開いた文王と武王は、一族や功臣の多くに、封土を分け与えて諸侯としましたが、その後疎遠となって攻撃し合い、周王は制御できませんでした。今天下は陛下のお力により、皆中央から官僚を派遣するようになりました。一族や功臣は制御しやすいように、国家に収められる租税によって厚く手当てするのが、太平をもたらす方策です。諸侯を置くのは良くありません」と、言った。始皇帝は、「天下は諸侯や王がいたため、争乱に苦しんだ。李斯の意見が正しい」と、言った。

資料2

博士の一人が進み出て、「私が聞くところによると、周王朝が長く続いたのは、一族や功臣に封土を分け与えて諸侯とし、王室を補佐する枝葉としたためです。今陛下は天下を領有していますが、一族は一介の庶民にすぎません。反逆を企てる臣下が現れた場合、帝室を補佐する者もないのに、どうして救い合うことができるでしょうか」と、述べた。

資料3

西晋では一族を王として、肉親同士が争い合った。天下の兵は皆皇帝に統率されていたのに、西晋が諸王に兵を授け、争乱の火種としたのはなぜか。魏が一族をないがしろにし、実権を握る臣下がそれに乗じたのに懲りたためである。

中国では、資料1・2と同様の議論がその後も見られる。例えば、資料3では、臣下であった **ア** に魏が皇帝の位を奪われたことに鑑みて採られた方策の弊害について述べる。しかし、別の箇所では、わずか三代で滅びた魏に対して、晋が江南に逃れた後、百年存続したことを挙げて、その方策の「優劣は明らかである」とも述べる。

また、㉔ 明の初めの官僚には、一族の諸王を目下の重大な問題としてとらえ、「古を引いて今を証する」と述べながら、前漢と西晋の先例を挙げて警鐘を鳴らす者もいた。

中国では、現実の問題に対処するため、様々な権力を一族に分与することもあった。ただし、それが後に争乱の火種となり、分権の弊害が現れることもあった。このように、一族に対する分権は、利害両面のある「諸刃の剣」であった。

問1 資料1・2の内容について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **1**

- ① 資料1で、李斯は、封建制の下で、周の一族や功臣が互いに疎遠になり、周王が制御できなくなったことを、戦乱の原因として挙げている。
- ② 資料1で、李斯は、郡県制の下で、周が一族や功臣を国家の租税により手厚く養ったことを、戦乱の原因として挙げている。
- ③ 資料2で、博士の一人は、一族に政治上の権力を持たせないことを、封建制の利点として挙げている。
- ④ 資料2で、博士の一人は、一族が帝室を補佐する担い手となることを、郡県制の利点として挙げている。

世界史B

問 2 文章中の空欄 **ア** に入れる人物の名と、資料3で説明されている争乱の名との組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **2**

- ① アー呉三桂 争乱の名ー三藩の乱
- ② アー呉三桂 争乱の名ー八王の乱
- ③ アー司馬炎 争乱の名ー三藩の乱
- ④ アー司馬炎 争乱の名ー八王の乱

問 3 下線部㉔に関連して、前の文章を参考にしつつ、明の初めの官僚が先例として挙げたと考えられる争乱の名あ～うと、一族に対する分権の弊害が現れた出来事について述べた文X・Yとの組合せとして正しいものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 **3**

争 乱

- あ 黄巾の乱
- い 赤眉の乱
- う 呉楚七国の乱

出来事

- X 朱元璋が頭角を現し、皇帝として即位するに至った争乱
- Y 建文帝に反発した永楽帝が、皇帝として即位するに至った争乱

- ① あーX
- ② あーY
- ③ いーX
- ④ いーY
- ⑤ うーX
- ⑥ うーY

B 次の資料1・2は、イングランドの国王エドワード(証聖王)の死後に、イングランドあるいはノルマンディーで見られた政治的動きに関して、それぞれの地域で書かれた記録である。(引用文には、省略したり、改めたりしたところがある。)

資料1

イングランド人の誉れ、平和をもたらす王エドワードは、23年間と6か月の統治の後、ロンドンで死去した。その翌日、エドワードが葬られると、副王であるハロルド(注1)が、イングランド中の最有力の貴族たちによって国王に選ばれた。彼は、エドワード王が死の前に、王国の継承者として指名していた人物であった。そして葬儀と同じ日に、ハロルドは、ヨーク大司教によって、国王にふさわしく正式に聖別(注2)された。王国の統治を開始するとすぐに、ハロルドは、不正な法を廃止して正しい法の制定に取り掛かった。また教会の保護者となり、敬虔で慎ましく、悪しき者を憎み、陸と海で祖国の防衛に努めた。

(注1) ハロルドーイングランド国王ハロルド2世のこと。

(注2) 聖別ー国王の即位に際して、聖職者が執り行う塗油の儀式のこと。

資料2

㊦ ノルマンディー公は、道理にかなったやり方で遠征の準備を進めたいと望んだ。彼は聖職者をローマ教皇のもとに送り、ハロルドがどのように彼に仕えたか、そして自ら行った宣誓を破り、嘘をついたかを説明させた。というのもハロルドは彼の娘を娶らず、またエドワードが彼に与えた王国を譲らなかった、ハロルドもそのことを認めて宣誓していたにもかかわらず、である。それゆえ聖なる教会の見解に従って、この偽証者を罰する許可を与え給え。もしノルマンディー公がイングランドを征服することを神がお望みなら、彼は聖ペテロからイングランドを受け取り、その結果、神以外のいかなる者に仕えることもないであろうと。それで教皇はノルマンディー公に征服の許可を与え、旗を送った。

世界史B

資料1・2からは、イングランドとノルマンディーとの間で、ハロルド2世の王位継承に対する認識の違いがあったことが分かる。このことが、ノルマンディー公による1066年のイングランド征服の一因となった。これは後世まで語り継がれる歴史的な大事件として、人々の記憶に深く刻まれることになる。しかしこの事件が起こるよりも前からすでに、王国の政治は、ブリテン島の海の向こうの諸勢力と連動しつつ展開していた。そもそも彼よりも半世紀前にイングランドの王位を奪取した、デンマーク出身の人物がいた。また、イングランドを統一したウェセックス王家は、積極的に北西ヨーロッパの家門と婚姻関係を作り上げていた。例えば10世紀の王エセルスタンの異母妹は の最初の妻であったが、 は後にローマ教皇から戴冠され、これが神聖ローマ帝国の起源とされる。さらに証聖王とノルマンディー公は、証聖王の母を通じて血縁に当たり、証聖王自身も若い頃にノルマンディーに亡命した過去を持つ。これらの事実が示すのは、◎ イングランド王国の歴史を、ヨーロッパ史という広い文脈のなかで理解する必要があるということである。

問4 文章中の空欄 の人物について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① メロヴィング家の王を廃位した。
- ② レオ3世によって戴冠された。
- ③ カタラウヌムの戦いに勝利した。
- ④ マジャール人を撃退した。

問 5 下線部㊸の人物の名あ・いと、資料1・2から読み取れる内容について述べた文X～Zとの組合せとして正しいものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

5

下線部㊸の人物の名

あ ウィリアム

い クヌート(カヌート)

資料1・2から読み取れる内容

X 資料1によれば、ハロルド2世は、証聖王によって後継者に指名されることなく、また王国の有力者によって選出されることもないままに、国王の座についた。

Y 資料2によれば、証聖王がノルマンディー公に王位を譲る約束をしていたにもかかわらず、ハロルドが宣誓を破って即位したことから、ハロルドの王位継承は許されない。

Z 資料1はノルマンディー側の認識を示し、資料2はイングランド側の認識を記述したものである。

① あ—X

② あ—Y

③ あ—Z

④ い—X

⑤ い—Y

⑥ い—Z

問 6 下線部㊹に関連して、イングランドとヨーロッパの他地域との関係について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 6

① エリザベス1世が、フェリペ2世と結婚した。

② 羊毛(原羊毛)が、イングランドからフランドル地方へ輸出された。

③ ジョン王が、フィリップ4世と争って敗れ、フランスにおける領地の大半を失った。

④ 共和政期のイングランドで出された大陸封鎖令は、英蘭戦争の引き金になった。

世界史B

C 次の文章は、イギリスにおける福祉制度の改革の歴史について述べたものである。(引用文には、省略したり、改めたりしたところがある。)

19世紀後半に入りイギリスでは、公的な年金制度の導入が本格的に議論されるようになった。その際、㊦重要な先例と考えられたのが、ドイツの老齢年金制度であった。ドイツでは、後に「世界政策」の名の下に海軍を増強した皇帝の治世下で、同制度が導入されている。

こうしたドイツの先例を踏まえて、イギリスでは1908年に老齢年金法が成立した。このことによって、公的な年金制度が開始された。この年金制度の導入を主導したのは、かつて首相グラッドストーンが率いた政党であった。

第二次世界大戦以降も、イギリスではその時々を経済的、社会的状況に鑑みて、年金制度を含めた福祉制度に対して様々な改革が行われた。次の資料は、20世紀に国営企業の民営化を推し進めた首相が、社会保障費などに関わる福祉制度の改革を行った後に、インタビューに答えた時のものである。

資 料

あまりにも多くの子どもや大人たちが、自分たちの問題を社会に転嫁しています。でも社会とは誰のことを指すのでしょうか。社会などというものは存在しないのです。存在するのは、個々の男と女ですし、家族です。そして、最初に人々が自分たちの面倒を見ようとしなない限りは、どんな政府だって何もできはしないのです。自分で自分の世話をするのは私たちの義務です。それから、自分たちの隣人の面倒を見ようとするのも同じように義務です。最初に義務を果たさないならば、権利などというものは存在しないのです。

問 7 下線部㉔に関連して、前の文章を参考にしつつ、次の年表に示した a ~ d の時期のうち、ドイツでの老齢年金制度の導入時期として正しいものを、後の①~④のうちから一つ選べ。

<input type="text" value="a"/>
1834年 ドイツ関税同盟が発足した。
<input type="text" value="b"/>
1871年 ビスマルクが文化闘争を開始した。
<input type="text" value="c"/>
1912年 ドイツ社会民主党が、帝国議会選挙で第一党に躍進した。
<input type="text" value="d"/>

- ① a
- ② b
- ③ c
- ④ d

問 8 前の文章を参考にしつつ、イギリスで公的な年金制度の導入を主導した政党について述べた文として最も適切なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。

- ① アイルランド自治法案を議会に提出した。
- ② マクドナルドが率いる保守党とともに、連立政権を成立させた。
- ③ スエズ運河会社の株を買収した。
- ④ フェビアン協会を基盤の一つとして結成された。

世界史B

- 問 9 前の文章を参考にしつつ、インタビューで資料のように答えた首相の名あ・いと、その人物が行った改革の内容として推測できることについて述べた文X～Zとの組合せとして正しいものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

9

首相の名

- あ アトリー
- い サッチャー

改革の内容

- X 「ゆりかごから墓場まで」と言われた福祉制度を充実させた。
- Y 貧民を救済するための救貧法を制定した。
- Z 「小さな政府」を実現すべく、社会保障費を見直した。

- ① あ－X
- ② あ－Y
- ③ あ－Z
- ④ い－X
- ⑤ い－Y
- ⑥ い－Z

第2問 世界史における諸勢力の支配や拡大について述べた次の文章A～Cを読み、後の問い(問1～8)に答えよ。(配点 23)

A 高町さんは、アレクサンドロス大王のアジア支配をゼミで発表することにした。古代の作家の作品を調べていくと、アジアの人々や文化に対してアレクサンドロス大王が異なる態度をとっていたことが分かった。次の資料1～4は、それらの態度について触れている作品の一部を要約したものである。

資料1

アレクサンドロスはバビロンに入ると、かつての支配者によって破壊された諸神殿、なかでもバビロンの人々が他の神々よりも尊崇するメソポタミアのある神の神殿を再建するよう指示した。彼はその神の神官たちに会い、この都市の祭祀さいしに関しては彼らの指示どおりに実施した。

資料2

アレクサンドロスによる征服の後、ペルシアの諸地域の子どもたちはソフォクレスやエウリピデスの劇作品を歌うことを学んだ。また彼は、70以上の都市を異民族の土地に建設した。こうして、東方の未開で野蛮な生活習俗を克服した。

資料3

アレクサンドロスは、ペルセポリスの宮殿を焼き払った。その理由として、およそ150年前にペルシア人がギリシアを攻撃し、アテネの神殿を焼き払った報復だと、彼は主張した。

資料4

アレクサンドロスは次第にペルシア風の衣装をまとい、その宮廷儀礼を採り入れるようになった。そのことに不満を抱いていた部下の一人が、宴会の席でアレクサンドロスはその父フィリッポス2世の功績に劣ると発言した。アレクサンドロスはその発言に怒り、酒に酔った勢いもあって、彼を刺殺してしまった。

世界史B

問 1 資料 1～4 について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 10

- ① アレクサンドロス大王は、自身が滅ぼした王朝によるバビロン捕囚に対抗して、バビロンで資料 1 に見られる宗教的に寛容な政策を採った。
- ② 資料 2 によれば、アレクサンドロス大王による征服の後、アテネで上演されていた悲劇作家の作品がペルシアでも学ばれた。
- ③ アレクサンドロス大王がペルセポリスの宮殿を破壊したのは、資料 3 によれば、ペロポネソス戦争でのギリシアの被害に対する報復であった。
- ④ 資料 4 によれば、デロス同盟を率いた自らの父に劣ると言われ、アレクサンドロス大王は激怒した。

問 2 高町さんは発表の準備を進めていくうちに、資料 1～4 がアレクサンドロス大王に対する後世の様々な評価の根拠になっていることに気付いた。次の評価 I・II は、そうしたアレクサンドロス大王に対する評価の一例である。それぞれの評価がなされた時代背景について述べた後の文あといの正誤の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 11

評 価

- I 共和政末期のローマの知識人は、「アジアの風習で墮落した暴君」と否定的に評価した。
- II 19 世紀後半のヨーロッパのある歴史家は、「アジアを文明化した使徒」と肯定的に評価した。

時代背景

- あ 評価 I の時代には、アジアで成立したマニ教がローマ領内で広がった。
- い 評価 II の時代には、帝国主義によるヨーロッパ列強の植民地獲得が「文明化の使命(文明的使命)」の名目で正当化された。

- ① あ—正 い—正
- ② あ—正 い—誤
- ③ あ—誤 い—正
- ④ あ—誤 い—誤

B 次の資料1～3は、19世紀におけるアメリカ合衆国の領土に関する法律の一部である。(引用文には、省略したり、改めたりしたところがある。)

資料1

① ミシシッピ川以西のルイジアナの中で、本法令によって規定された
州の領土を除く、北緯36度30分以北の部分においては奴隷制度や意に反する労役を、正当な宣告を受けたものの犯罪に対する罰則を除いては、ここに未来永劫^{えいごう}にわたって禁止する。

資料2

大統領は、いずれの州または準州(注)にも含まれず、所有権が消滅している土地を幾つかの地域に区分し、インディアンの部族が現在居住している土地の代替地を選択して移住させることができる法を定める権限を有する。
 (注) 準州—白人男性人口5千人で準州とされ、6万人で州に昇格し、連邦加盟が可能になった。

資料3

ネブラスカ準州の名で暫定的な行政区を構成する本法の真の意図と目的は、州及び準州に奴隷制度を法的に確立するものでも、逆に禁止するものでもなく、住民が、自らの政府を自らの意志に基づいて統制するために、完全なる自由な状態に置かれることにある。

問3 下線部①の地域をアメリカ合衆国に譲渡した国の名と、文章中の空欄に入れる語との組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- | | |
|------------|--------|
| ① 国の名—スペイン | ア—テキサス |
| ② 国の名—スペイン | ア—ミズーリ |
| ③ 国の名—フランス | ア—テキサス |
| ④ 国の名—フランス | ア—ミズーリ |

世界史B

問 4 次のあ・いは、それぞれ資料 2・3 の法律の名である。あ・いと、それぞれが作られた理由や背景として考えられることを述べた文 X～Z との組合せとして正しいものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。なお、正しいものは複数あるが、解答は一つでよい。 13

法律の名

- あ 先住民の強制移住法(インディアン強制移住法)
- い カンザス=ネブラスカ法

法律が作られた理由や背景として考えられること

- X 北緯 36 度 30 分以上に奴隷州を作らないという規制を廃止するため。
- Y 西部出身のジャクソンが大統領に当選した。
- Z 一定の条件を満たす入植者に、国有地を無償で与えるため。

- ① あ—X ② あ—Y ③ あ—Z
- ④ い—X ⑤ い—Y ⑥ い—Z

問 5 問 4 で選んだ解答に基づき、それぞれの法律が施行されたことがきっかけとなって起こった事柄について述べた文として最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。 14

- ① 「涙の旅路(涙の踏みわけ道)」として知られる悲劇を生んだ。
- ② ホームステッド法(自営農地法)が制定された。
- ③ アメリカ労働総同盟が結成された。
- ④ 棍棒外交が展開された。
- ⑤ 共和党が結成された。
- ⑥ 連邦派と反連邦派が対立した。

C 次の資料は、朝鮮戦争における休戦交渉に先立って、スターリンが毛沢東に宛てて発した電報の一部である。(引用文には、省略したり、改めたりしたところがある。)

資料

我々の見解では、休戦交渉を行うため、**イ**の代表らと会うのに同意するということを、その最高司令官に早く回答する必要がある。この回答は、**ウ**の司令官及び朝鮮民主主義人民共和国軍の最高司令官によって署名されなければならない。もし、**ウ**の司令官が署名しなければ、アメリカは、我々の回答文に対して、いかなる意義も付与しないであろう。会談場所については、38度線上で行われるべきことを主張しなければならない。現在、我々が休戦問題で主導権を取っているのをいかして、会談場所の問題に関して、**イ**側が譲歩するように仕向けるべきであろう。

この戦争は、**ウ**が派遣されて戦闘に加わることとなった結果、実質的に中国とアメリカ合衆国との間の「熱い戦争」へとその性格が変わっていった。開始される休戦交渉が実質を伴う協議であることを、まずは敵にきちんと示すべきだとして、スターリンは、資料の前半に見えるような指示を毛沢東に与えたと理解される。

ヨーロッパでくすぶりだした東西勢力の対立は、1948年2月に**エ**で共産党のクーデタが起こって同党が政権を掌握したこと、及び同年にソ連がベルリンを封鎖したことなどによって決定的となった。そして朝鮮戦争をきっかけに、それはついに世界化してしまったのである。こうした状況を受けて、アメリカ合衆国は、アジア圏で社会主義国がさらに増加することを阻止しようとして、**㉞** アジア・太平洋地域においても安全保障体制の構築を目指したのである。

一方、この戦争は中国の社会主義化を加速させる契機ともなった。毛沢東は中華人民共和国建国当初から「ソ連一辺倒」の外交方針を打ち出していたが、内政面においてもソ連に倣って社会主義国家の建設を急ぐようになった。経済政策においては、**㉟** ソ連をモデルにして、第1次五か年計画が立案され、朝鮮戦争の休戦協定が成立した年に実行された。

世界史B

問 6 文章中の空欄 **イ** と **ウ** に入れる語と、下線部⑥のためにアメリカ合衆国も参加して結成された国際組織の名との組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **15**

	イ	ウ	国際組織
①	国連軍	人民義勇軍	東南アジア諸国連合 (ASEAN)
②	国連軍	人民義勇軍	東南アジア条約機構 (SEATO)
③	人民義勇軍	国連軍	東南アジア諸国連合 (ASEAN)
④	人民義勇軍	国連軍	東南アジア条約機構 (SEATO)

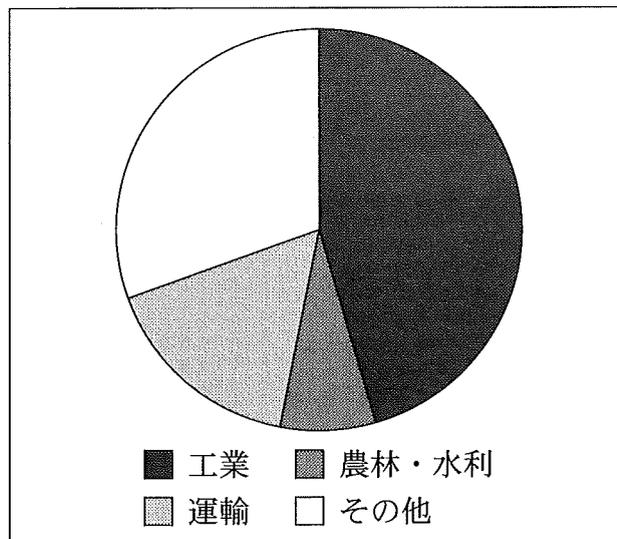
問 7 文章中の空欄 **エ** の国の歴史について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **16**

- ① スターリン批判が伝わると、ポズナニで暴動が起こった。
- ② 独裁体制を敷いていたチャウシェスクが処刑された。
- ③ 社会党のブルムを首相とする人民戦線政府が成立した。
- ④ ドプチェクの指導の下、自由化(民主化)を推進する運動が展開した。

問 8 下線部㉔に関連して、次のグラフは、中国の第1次五か年計画における各部門に対する投資額の割合を表したものである。このグラフから読み取れる内容あ・いと、ソ連の第1次五か年計画について述べた文として最も適当なものX～Zとの組合せとして正しいものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

17

グラフ



(中華人民共和国国家統計局編『中華人民共和国経済・文化統計』より作成)

グラフから読み取れる内容

- あ 農林・水利と運輸への投資額を合わせると、全体の5割を超えている。
- い 農林・水利と工業への投資額を合わせると、全体の5割を超えている。

ソ連の第1次五か年計画について述べた文

- X 戦時共産主義の下で、穀物を強制的に徴発した。
- Y 重工業の発展を目指した。
- Z 農業調整法(AAA)を制定し、農産物の生産量を調整した。

- ① あ—X ② あ—Y ③ あ—Z
- ④ い—X ⑤ い—Y ⑥ い—Z

世界史B

第3問 交通の発達は、社会のあり方に大きな影響を与えてきた。このことについて述べた次の文章A～Cを読み、後の問い(問1～7)に答えよ。(配点 22)

A インド亜大陸における交通の歴史について、陸路をテーマに、ゼミで学生と教授が会話をしている。(図には、省略したり、加工したりしたところがある。)

図1

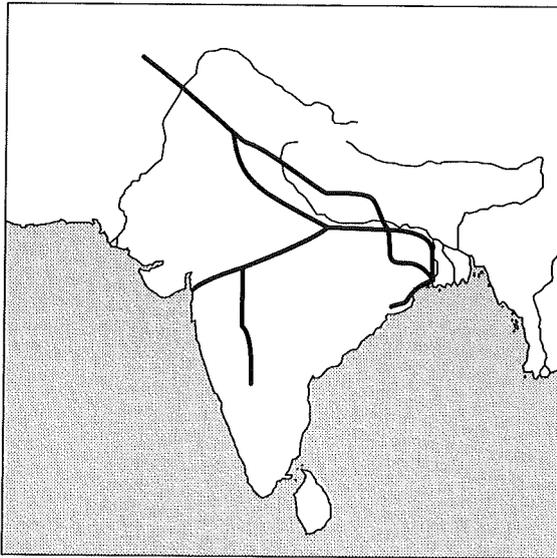
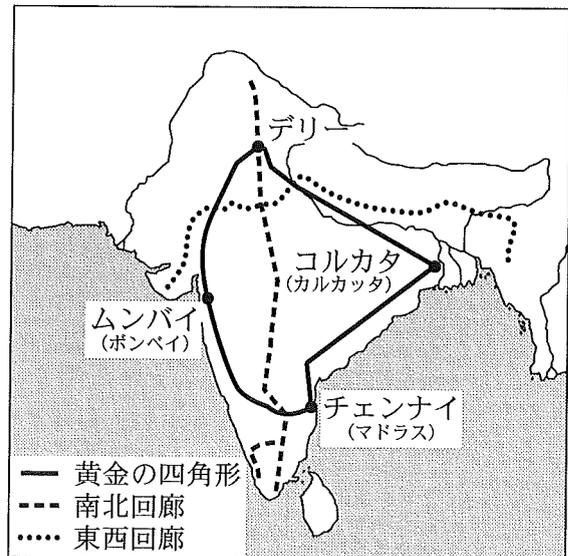


図2



教授：図1はマウリヤ朝の **ア** 治世下における主要道を再現した略図です。何か気付くことはありますか。

本問：北インドと南インドは歴史や文化面で違いがあると高校の時に学びました。すでにこの時代に両地域を結ぶ陸路があったのですね。

石塚：農業生産性の高い北インドの平原を結ぶ道は、ここからさらに中央アジアまで延びていましたよね。

教授：二人とも良い着眼点です。図1で示した主要道は当時のマウリヤ朝のおおよその範囲を表しています。**ア** は自らの統治理念を刻ませた磨崖碑や石柱碑の多くを、主要道の終点付近の境界域や主要道沿いの重要拠点に置きました。

池野：なるほど、人の目に付くところに碑文があったのですね。ところで、古代の主要道はそのまま現在も使われているのでしょうか。

教授：参考に、現在のインドの主要な高速道路網を描いた図2と見比べてみましょう。

本問：図1と異なって、図2の高速道路網は、インド亜大陸を囲んでいるように見えます。

教授：「黄金の四角形」と呼ばれる高速道路で、主要な大都市圏を結んでいます。

池野：内陸の①デリーは13世紀頃から近世にかけての中心都市でしたが、その後、新たに開発された沿岸の都市の方が重要になりましたよね。確か沿岸の都市を起点に鉄道が内陸に延びていきました。

石塚：港や鉄道や道路が発展する背景に、物量が格段に増えたこともありますよね。デリーが再びインドの中心になったのは、内陸の交通網の整備が進んだことも関係しているように思います。

教授：1911年以降デリーがインド帝国の首都になったことで、政治的な重要性を増しました。さて、今日の話の内容をまとめてみましょう。

問1 文章中の空欄 **ア** の人物の治世に起こった出来事について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **18**

- ① デカン高原に成立したサータヴァーハナ朝と交流した。
- ② 中央アジアから遊牧民エフタルの侵入があった。
- ③ 仏典結集が行われた。
- ④ 東晋から法顕が訪れた。

問2 下線部②について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **19**

- ① この地で第1回インド国民会議が開催された。
- ② この地で開催されたインド国民会議で、4綱領が決議された。
- ③ この地にタージ=マハルが建造された。
- ④ この地に奴隸王朝の首都が置かれた。

世界史B

問 3 学生たちがまとめた次のメモ1・2の正誤について述べた文として最も適切なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

20

メモ1

図1の南部に延びる主要道をたどっていくと、マウリヤ朝の支配領域がインド亜大陸の南端にまで及んでいたことが分かる。

メモ2

図2に見られる「黄金の四角形」は、かつてのイギリス植民地の拠点として発展した沿岸の大都市をつないでいることが分かる。

- ① メモ1のみ正しい。
- ② メモ2のみ正しい。
- ③ 二つとも正しい。
- ④ 二つとも誤っている。

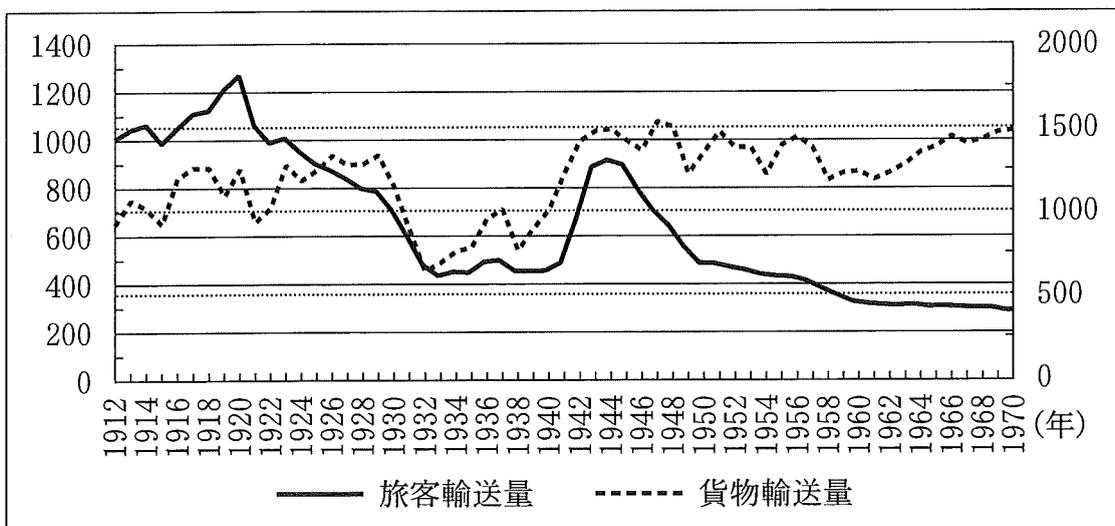
B アメリカ合衆国では、20世紀に入って、交通手段の変化が進行した。1910年代には、農村部の道路建設を促進するため、連邦政府が各州政府を援助できるようにする法律が制定された。この法律は冷戦下で改正され、国防政策の一環として全国に幹線道路網を整備することを目的としたものとなり、その結果として、高速道路の整備が進んだ。また、第二次世界大戦中に発達した航空技術は、戦後には民間航空の成長を促し、アメリカ合衆国では長距離の国内移動の手段として、航空機の利用が増加した。

次のグラフは、1912年から1970年までのアメリカ合衆国における鉄道を利用した旅客輸送量及び貨物輸送量の変化を示したものである。このグラフからも、交通手段の変化が鉄道の輸送量に及ぼした影響が読み取れる。

グラフ

旅客輸送量(単位：100万人)

貨物輸送量(単位：100万トン)



(『アメリカ歴史統計』より作成)

世界史B

問 4 次の文あ～うは、グラフで示された時期にアメリカ合衆国で起こった出来事である。これらが年代の古いものから順に正しく配列されているものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 21

あ 債務国から債権国に転じた。

い イギリスへの支援を目的とする武器貸与法が成立した。

う テネシー川流域開発公社(TVA)が設立された。

- ① あ→い→う ② あ→う→い ③ い→あ→う
④ い→う→あ ⑤ う→あ→い ⑥ う→い→あ

問 5 前の文章とグラフからは、アメリカ合衆国の鉄道の旅客輸送量及び貨物輸送量の変化について、次のような仮説を導き出すことができる。次の仮説中の空欄 イ に入れる語句え・おと、空欄 ウ に入れる文X・Yとの組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 22

仮 説

1920年代前半に入って鉄道旅客輸送量が減少傾向を示している要因としては、イ が考えられる。また、1940年代後半から1960年代後半までの期間には、ウ。その要因としては、高速道路の整備に加えて、航空機の普及が考えられる。

イ に入れる語句

え 戦時経済への移行

お 自動車の普及

ウ に入れる文

X 貨物輸送量とは異なり、旅客輸送量は減少傾向が続いている

Y 貨物輸送量と同様に、旅客輸送量も減少傾向が続いている

- ① え—X ② え—Y ③ お—X ④ お—Y

C あるクラスで、ロシアの歴史と文化についての授業が行われている。(引用文には、省略したり、改めたりしたところがある。)

先生：次の資料1及び資料2は、19世紀ロシアの作曲家であるチャイコフスキー宛に、彼のパトロンだったナジェージュダ＝フォン＝メックが書いた手紙です。気が付いたことを指摘してください。

資料1

私たちのロシア政府は再び方針転換して、**エ**，オーストリアとの同盟という古くからの政策にまた戻りました。これは道理にかなっているかもしれませんが、全然好感が持てませんし、脆弱ぜいじやくなものに思えます。こうした友好は、ヴィルヘルム帝が存命の間しか続かないでしょうし、彼が亡くなれば、ロシアは**エ**から痛い目に遭わされることになります。もちろん、フランスは自国の事情から、ロシアとの同盟がなくてもロシアを助けてくれるでしょうが、フランスと仲良くした方が良いのは確かです。(1884年2月25日)

資料2

実際物分かりの悪いフランスは、助かるためにはロシアと同盟するしかないということを、理解していません。フランスの大手の新聞『フィガロ』紙は、ブルガリアの問題でロシアの政策に反対する記事を載せています。何たる愚かな！(1886年9月22日)

藤井：資料1の冒頭で触れられている同盟は1873年に締結されたと世界史の授業で学びましたが、この手紙が書かれたのは1884年ですね。

先生：この同盟は事実上一度失効した後、1881年に再締結され、1884年に更新されます。資料1は1884年の更新を指しています。

西原：資料2では、①フォン＝メックはすごくいら立っていますね。でも本当に、当時のフランスの世論が彼女の言うとおりであったか、調べてみると面白そうだと思います。

藤井：彼女の夫は1860年代の鉄道建設で、巨万の富を築いたそうですね。当時のロシアで、鉄道はどの程度建設されていたのでしょうか。

世界史B

先生：では、1861年から1905年にかけてのロシアの鉄道の年平均建設距離数を示したグラフを見てみましょう。ここから何か読み取れますか。

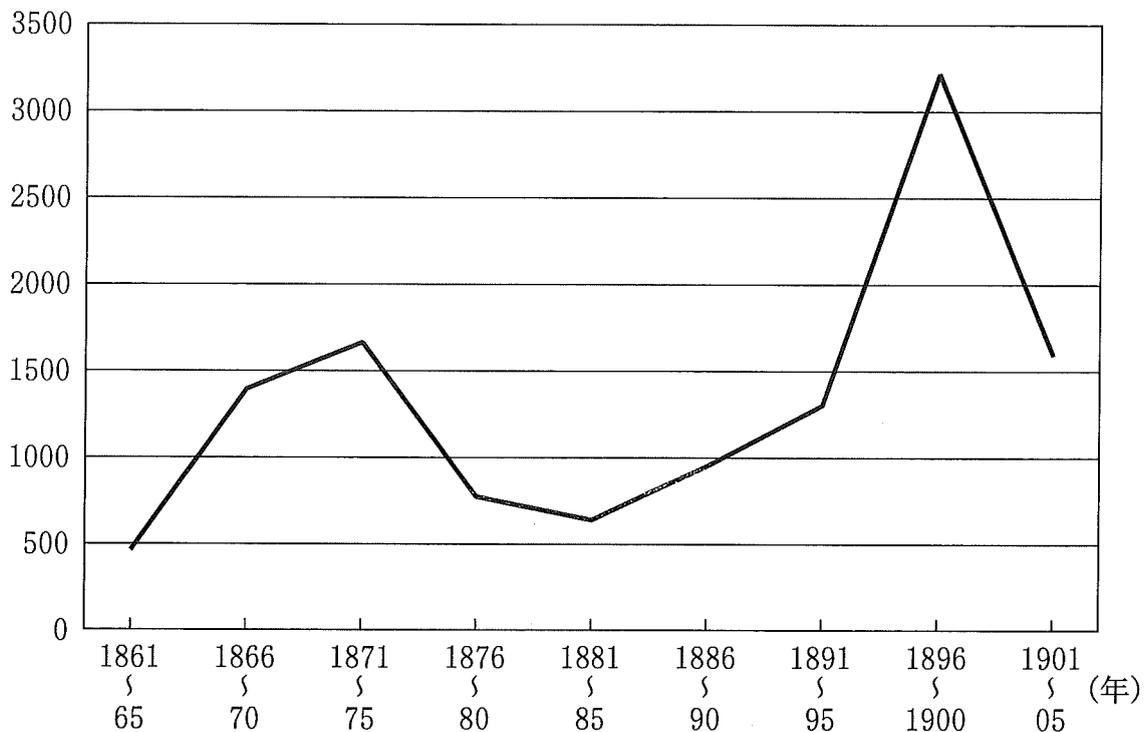
西原：1890年代後半に大きな山がありますが、これはフォン＝メックが望んでいたこととも、関係していますよね。

先生：そのとおりです。1890年代、ロシアには多くの外国資本が流入しましたが、特に露仏同盟を締結した、フランスからの流入が目立っていました。こうした資本が鉄道建設を支えます。

藤井：私は、1860年代後半から1870年代前半にかけても、山ができています。この時期に、ロシアが鉄道建設を進めたのはなぜなのでしょう。

先生：ヒントは、この時期モスクワから黒海北岸にかけて、鉄道建設が進んでいることです。付け加えると、1860年代後半にロシアは領土の一部をアメリカ合衆国に売却していますが、売却で得た資金も鉄道建設に使われました。これらの情報と授業で学んだことを基に、19世紀後半のロシアの鉄道建設について調べて、分かったことをまとめてください。

グラフ ロシアにおける鉄道の年平均建設距離数 (単位：キロメートル)



(マルコム＝フォーカス『ロシアの工業化 1700～1914』より作成)

- 問 6 前の文章を参考にしつつ、文章中の空欄 **エ** に入れる国の名あ・いと、
下線部⑥の理由と考えられる文X・Yとの組合せとして正しいものを、後の
①～④のうちから一つ選べ。 **23**

エ に入れる国の名

あ ドイツ

い イタリア

下線部⑥の理由

X フォン＝メックは、フランスがロシアとの同盟を望むと期待していたが、
フランスのメディアが、ロシアに批判的な記事を書いているから。

Y フォン＝メックは、フランスとロシアの同盟の締結はやめた方が良くと考
えているが、フランスがロシアとの同盟を希望しているから。

- ① あ－X ② あ－Y ③ い－X ④ い－Y

- 問 7 前の文章を参考にしつつ、生徒たちがまとめた次のメモの正誤について述べ
た文として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 **24**

藤井さんのメモ

1860年代から1870年代にかけて、鉄道の年平均建設距離数が伸びているの
は、ロシアがクリミア戦争で得た黒海北岸地域において、鉄道建設が進んだた
めである。一方、1890年代に年平均建設距離数が伸びているのは、シベリア
鉄道の建設のためだと考えられる。

西原さんのメモ

1860年代から1870年代にかけて、ロシア政府は鉄道建設を推進するた
めに、アラスカ売却で得た資金も利用した。一方、1890年代の鉄道建設を支
えたのは、露仏同盟の締結により関係が強化されたフランスをはじめとする外国
資本である。

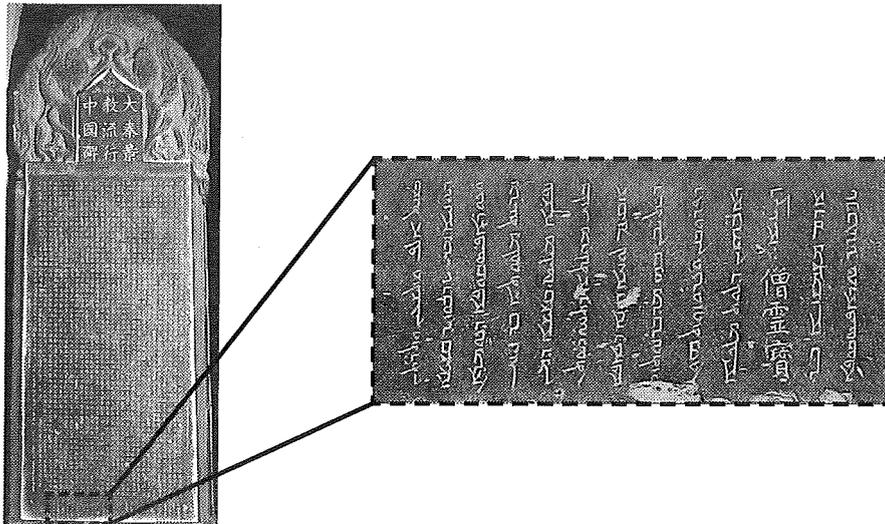
- ① 藤井さんのみ正しい。 ② 西原さんのみ正しい。
③ 二人とも正しい。 ④ 二人とも誤っている。

世界史B

第4問 世界史上の様々な言語や文字と、それをを用いた人々の文化やアイデンティティについて述べた次の文章A～Cを読み、後の問い(問1～9)に答えよ。

(配点 28)

A 教室でタブレットを使って調べ物をしながら、生徒と先生が会話をしている。



近藤：インターネットで検索して、唐代の長安で作られた碑の写真を見ていたら、漢字ではない文字が書かれているようです。これは何でしょうか。

先生：これはシリア文字ですね。シリア語を書き記すのに使われる文字です。シリア語は、アラム語から派生して、西暦1世紀頃から用いられ始め、その後メソポタミア地方一帯においてキリスト教徒によって用いられる言語として広がりました。

相田：ということは、この碑の制作に関わったキリスト教徒が、シリア語を使っていたということでしょうか。

先生：そのとおりです。ローマ皇帝 **ア** による公認以降、ローマ帝国の領域内でキリスト教の教義が議論されていきましたが、ローマ帝国と対立していたササン朝の下では、ローマ帝国内の教会からは独立した教会が形成されていました。それによってキリスト教徒はイラン各地へと広がっていき、その後、中国へも到達していました。彼らの多くが教会で用いる言語としてシリア語を使っていたため、シリア文字が使われたと考えられます。

近 藤：シリア語は、ほかにはどのような時に使われたのでしょうか。

先 生：例えば、8世紀後半のイラクでは、キリスト教徒が、ギリシア語で書かれた論理学の書物をシリア語に翻訳し、カリフの依頼により、それらをさらにアラビア語へと翻訳しました。このシリア語を経由した翻訳活動は、9世紀には、ギリシア語から直接アラビア語に翻訳するという形が広がっていく学術的基盤となりました。

相 田：それでは、ギリシア語からアラビア語への翻訳が普及してしまうと、シリア語は使われなくなったのでしょうか。

先 生：いいえ、シリア語はその後も使われ続け、逆にアラビア語による学術的成果を取り入れるようになりました。11世紀から13世紀には、シリア語でも再び多くの書物が記されるようになり、モンゴル支配下の西アジアにおいて、様々な学術分野の著作がシリア語で書き残されました。

近 藤：①地域や王朝を越える文化の伝達に、シリア語は大きな役割を果たしていたのですね。

問1 文章中の空欄 **ア** の人物の事績あ・いと、その人物が開催した公会議について述べた文X～Zとの組合せとして正しいものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 **25**

事 績

あ 外敵の侵入に対応するため、軍管区制(テマ制)を導入した。

い 徴税強化のため、コロヌスの移動を禁止した。

公会議について述べた文

X 単性論が異端とされた。

Y アリウス派が異端とされた。

Z ネストリウス派が異端とされた。

① あ—X

② あ—Y

③ あ—Z

④ い—X

⑤ い—Y

⑥ い—Z

世界史B

問 2 下線部④に関連して、地域や王朝を越えて伝えられた文化や制度について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

- ① ゼロの概念が、ローマからイスラーム世界に伝わった。
- ② アマルナ美術の影響を受けた細密画(ミニアチュール)が、イスラーム世界で発展した。
- ③ 教育機関であるマドラサが、イスラーム世界各地で建設された。
- ④ マムルーク朝で開始されたイクター制が、その後のイスラーム王朝の下でも用いられた。

問 3 前の文章を参考にしつつ、シリア語とそれを用いた人々の歴史について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 27

- ① シリア語の表記に使われたシリア文字は、シュメール時代のメソポタミアで用いられた。
- ② パルティアの下では、シリア語を使っていた西アジアのキリスト教徒からジズヤが徴収された。
- ③ シリア語を使っていたキリスト教徒が、アッバース朝における学術の発展に寄与した。
- ④ 第1回十字軍の到来までに、西アジアのキリスト教徒にとって、シリア語の学術言語としての地位は失われていた。

B コロンブスはイタリアのジェノヴァ人であるという説が現在では定説になっている。しかし19世紀には、彼は「スペイン人」であるという説があった。この説の提唱者たちは、コロンブスがほとんどの文書をスペイン語で書いていたことを根拠に、彼が「スペイン人」だと思い込んでいたのである。

それではなぜ、コロンブスは「イタリア語」で書けなかったのか。現在のイタリア語はトスカナ語が基になっているが、彼が生まれ育ったジェノヴァの①言語はトスカナ語とは違う言語であり、しかもジェノヴァの言語は書き言葉を持たなかったからである。

コロンブスが生きていた時代には「国語」は成立しておらず、多言語使用が普通であった。ところがスペインでは、他のヨーロッパ諸国に先駆けて「国語」が成立し、書き言葉として確立しつつあった。そしてスペインの影響を受けたポルトガルの上流階級では、スペイン語で書くことがはやっていた。②彼は、スペイン王室に航海の支援を求める前に、ポルトガル王室に支援を求めていた。そのためポルトガルに10年ほど滞在し、そこでスペイン語の読み書きを覚えたのである。

問4 下線部②に関連して、言語と作品に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

28

- ① ルターが、『新約聖書』をフランス語に翻訳した。
- ② ダンテが、『神曲』をトスカナ語(トスカナ地方の口語)で著した。
- ③ プルタルコスが、『対比列伝』をギリシア語で著した。
- ④ カエサルが、『ガリア戦記』をラテン語で著した。

世界史B

問 5 下線部㉔に関連して、ポルトガル王室は最終的にはコロンブスを支援しなかったが、その理由に関し、推測される仮説として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 29

- ① 自国内のレコンキスタを終結させることに注力していたため、財政的な余裕がなかったからだろう。
- ② コロンブスの航海は西廻り^{まわ}であったため、トルデシリャス条約で定めていたスペインの権益を侵害することになるからだろう。
- ③ スペイン王がポルトガル王位を継承したため、スペイン王室が支援することになったからだろう。
- ④ バルトロメウ＝ディアスが喜望峰に到達したため、インド航路開拓のめどが立ったからだろう。

問 6 「コロンブスはスペイン人である」という説は、ある思い込みに基づく誤った説である。前の文章から読み取れる思い込みの内容あ・いと、その思い込みの背景にある価値観として最も適当なものX・Yとの組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 30

前の文章から読み取れる思い込みの内容

- あ スペイン語で書く者はスペイン人である。
- い ジェノヴァはスペインの支配下にあった。

価値観

- X 国家は同一の言語・文化を共有する均質な国民によって構成されるべきだ
という国民国家の価値観
- Y 列強は支配地域の拡大を目指して世界を分割すべきだという帝国主義の価値観

- ① あ—X
- ② あ—Y
- ③ い—X
- ④ い—Y

C あるクラスで、書道の授業が行われている。

作 品



先 生：ここで課題とする作品は、顔真卿の「祭姪文稿」^{さいてつぶんこう}です。これは、で死んだ甥の遺霊に顔真卿が捧げた文の草稿です。

神 本：は世界史の授業で学びました。作品に見える「逆賊」は、安禄山を指しているのでしょうか。

先 生：そのとおりです。

杉 田：顔真卿と言えば、私は以前学んだ堂々とした楷書が好きです。唐代の初めの整った書風とは全然違う印象を持っていますが、顔真卿が活躍した頃は、文化が大きく変化する時期だったのでしょうか。

先 生：良いところに気が付きましたね。8世紀後半の生まれで、を推奨した韓愈は、王羲之の書を、表面的な美しさを追い求めた「俗書」だと批判しています。

杉 田：文学と芸術の主張がリンクしているのですね。

先 生：そうです。また、宋代に入ってから、歐陽脩が顔真卿の楷書を人物の反映として高く評価し、蘇軾も顔真卿の書を力強く画期的なものとして書道史に位置づけました。このように顔真卿の書の書きぶりやその評価の有り様をたどっていくと、という、唐代後半期から宋代にかけての文化の流れをうかがい知ることができますね。

福 村：この作品にはたくさんの印が押されていますが、これらは一体何ですか。

世界史B

先生：これらの印は、この作品を持っていた人や鑑賞した人が押したもので、ひととき大きな印は清の乾隆帝のものです。

福村：清の皇帝は確か漢人ではありませんでしたが、書道にも関心を持っていたのですね。

先生：そうです。乾隆帝は自らも書を嗜み、数多くの名品を集めました。乾隆帝はさらにそれらを書道全集にして出版してもいます。このような皇帝による文化事業は、中国の伝統的な書道文化が長く保持された一因と言えるでしょう。

問7 文章中の空欄 **イ** の反乱について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **31**

- ① 塩の密売人が起こした反乱であった。
- ② 反乱が鎮圧された後、藩鎮の勢力が減退した。
- ③ 反乱を鎮圧した節度使が、新たな王朝を創設した。
- ④ ウイグルの援軍を得て、反乱が鎮圧された。

問8 文章中の空欄 **ウ** に入れる語あ・いと、空欄 **エ** に入れる文X・Yとの組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

32

ウ に入れる語

あ 四六駢儷体

い 古文

エ に入れる文

X 貴族的な形式美を否定的に捉え、力強さや個性を尊重する

Y 貴族的な形式美とともに、力強さや個性を尊重する

- ① あ—X
- ② あ—Y
- ③ い—X
- ④ い—Y

問 9 福村さんは授業の後に、世界史で学んだことを踏まえてメモ1・2を作成した。前の文章を参考にしつつ、メモ1・2の正誤について述べた文として最も適切なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

33

メモ1

書道文化へ積極的に関与した乾隆帝は、漢人に対して自由な言論活動を認め、中国の伝統文化を保護した。

メモ2

清の皇帝による中国の伝統文化に対する政策は、北魏の孝文帝により自文化を維持しつつ進められた漢化政策に通じる。

- ① メモ1のみ正しい。
- ② メモ2のみ正しい。
- ③ 二つとも正しい。
- ④ 二つとも誤っている。